

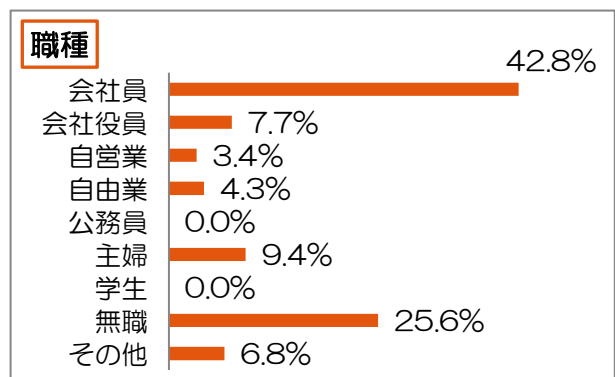
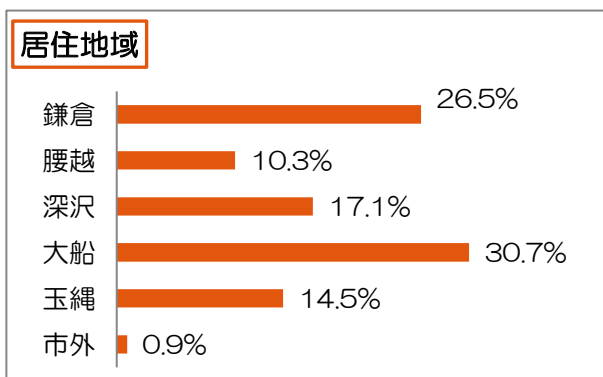
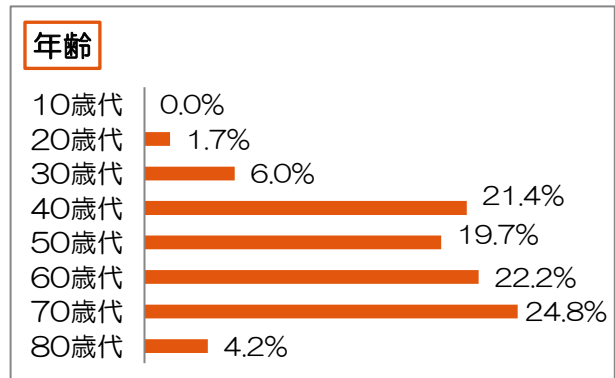
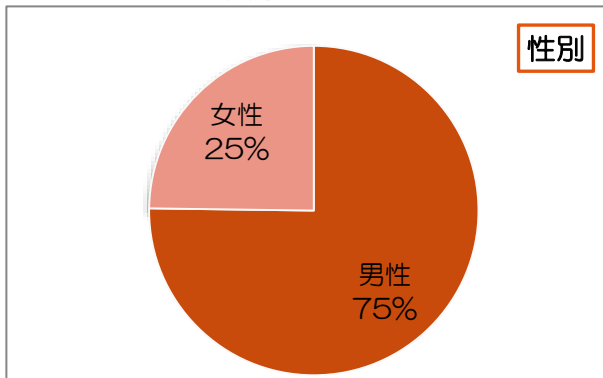
第45回 市政e-モニターアンケート 「広報事業について」

【テーマ】 広報事業について

【目的】 現在、本市では月に2回（1月・5月・8月は月1回）「広報かまくら」を発行するなど、さまざまな手段で市政に関する情報を発信しているところです。これからもより多くの方に市政に関心を持っていただけるよう、広報事業のさらなる充実を図るためアンケートを実施させていただきます。

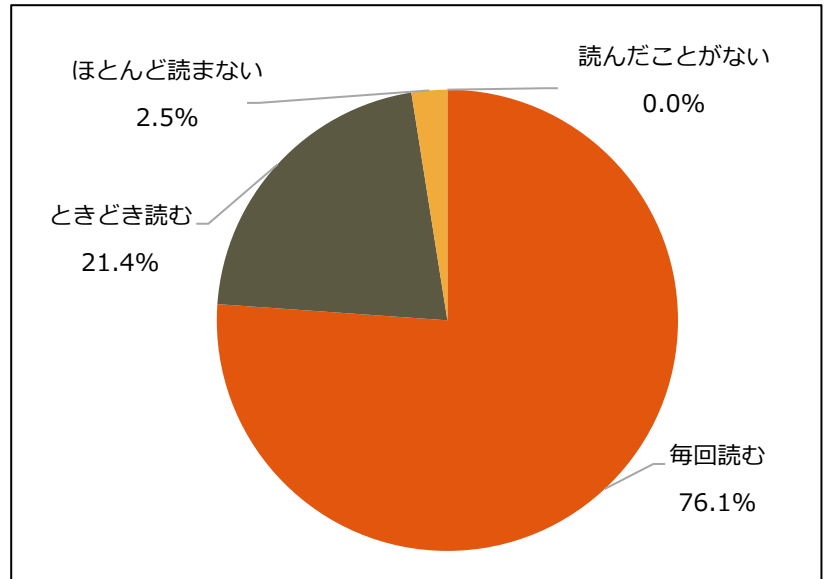
- ◆ アンケート送信日 : 平成31年1月17日（木曜日）
- ◆ 実施期間 : 平成31年1月17日（木曜日）～1月31日（木曜日）
- ◆ 送信者数 : 453 名（着信者数 427 名）
- ◆ 回答者数 : 117 名
- ◆ 回答率(対着信者数) : 27.4%（前回より +10.7ポイント）

【今回の回答者の基本属性】



【質問1】(必須)「広報かまくら」を読んでいますか。(1つ選択)

1. 毎回読む	89 名
2. ときどき読む	25 名
3. ほとんど読まない	3 名
4. 読んだことがない	0 名
合計	117 名



【広報広聴課より】

9割以上の方に「広報かまくら」を定期的に読んでいただいていることがわかりました。今後も多くの市民の皆様にご覧いただけるような紙面づくりに取り組んでまいります。

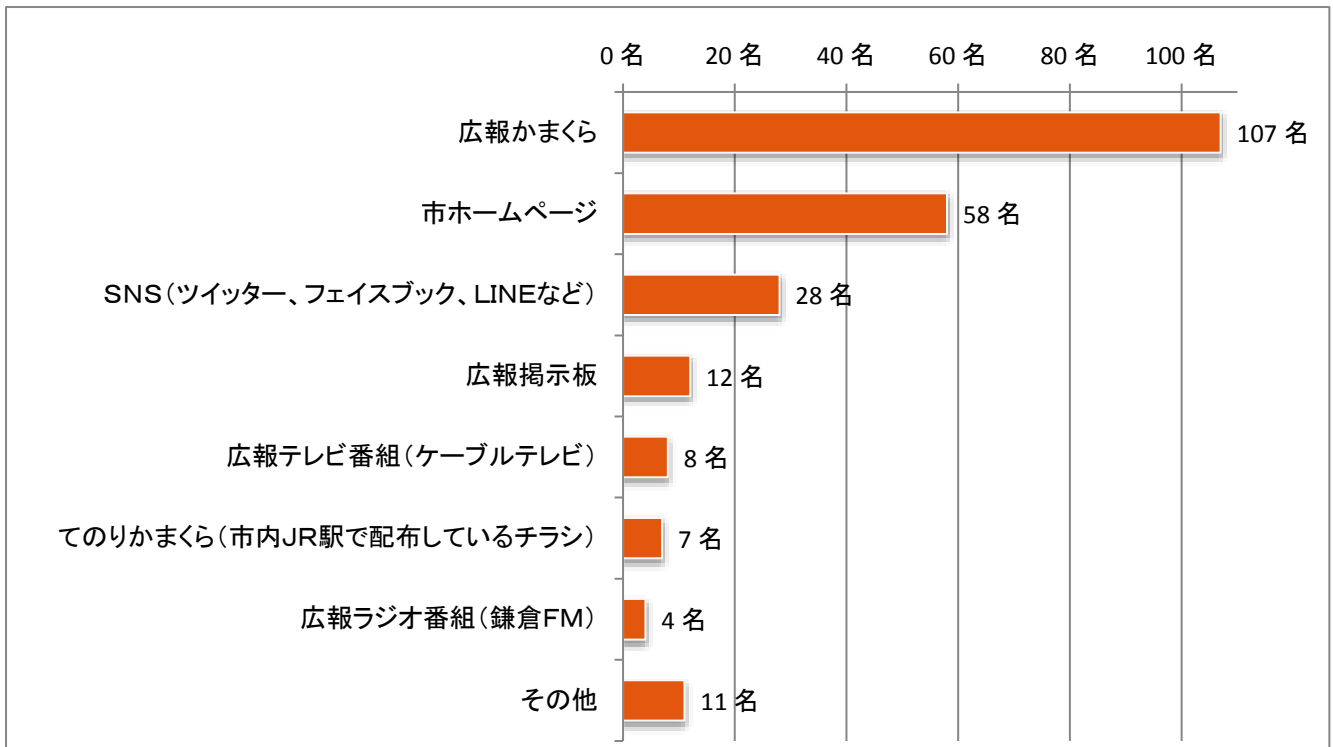
【質問2】 質問1で3.4（「広報かまくら」をほとんど読まない・読んだことがない）と回答された方に伺います。「広報かまくら」をほとんど読まない、または読んだことがない理由は何ですか。最も当てはまるもの1つを選んでください。(1つ選択)

1. 読む時間がない	0 名
2. 行政の情報に興味がない	1 名
3. 読まなくても支障がない	1 名
4. 他の方法で行政の情報を得ているので必要ない	1 名
5. その他	0 名
合計	3 名

【質問3】(必須)行政の情報について、どのような方法で得ていますか。当てはまるものを全て選んでください。(複数選択)

1. 広報かまくら	107 名
2. 市ホームページ	58 名
3. SNS（ツイッター、フェイスブック、LINEなど）	28 名
4. 広報テレビ番組（ケーブルテレビ）	8 名
5. 広報ラジオ番組（鎌倉FM）	4 名
6. 広報掲示板	12 名
7. てのりかまくら（市内JR駅で配布しているチラシ）	7 名
8. その他	11 名



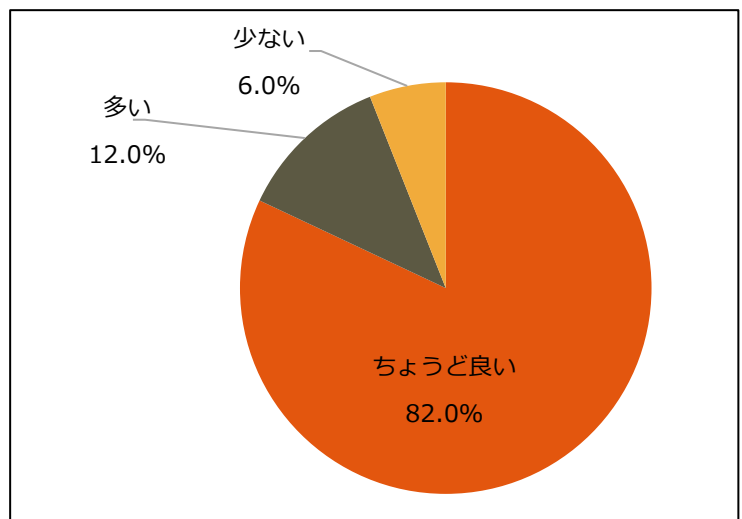


【広報広聴課より】

行政の情報について「広報かまくら」や鎌倉市ホームページを中心に得ている方が多いことがわかりました。「広報かまくら」やホームページの充実はもちろん、他の媒体も見直ししながら、積極的に情報発信していきたいと考えています。

【質問 4】(必須)「広報かまくら」は毎月 2 回(1 月・5 月・8 月は月 1 回)発行しています。発行回数についてどのように思いますか。(1 つ選択)

1. 多い	14 名
2. ちょうど良い	96 名
3. 少ない	7 名
合計	117 名

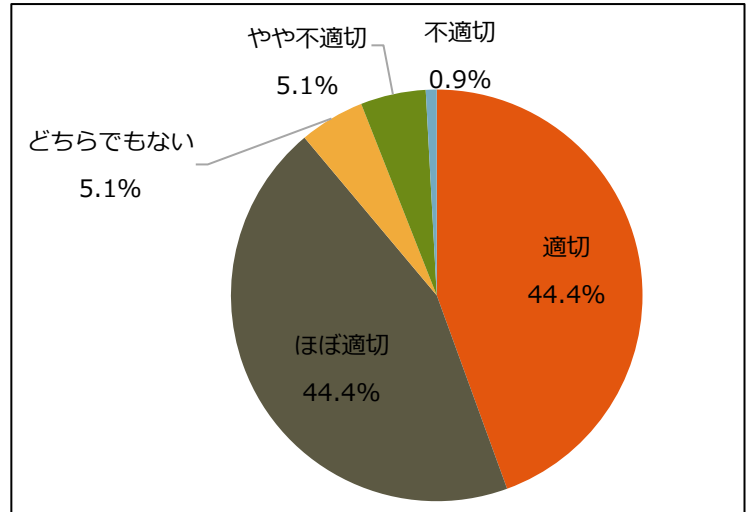


【広報広聴課より】

「広報かまくら」の発行回数について、約 8 割の方がちょうど良いと感じていることがわかりました。適正な発行回数については今後も継続的にご意見を伺ってまいります。

【質問5】（必須）「広報かまくら」はタブロイド判8ページでお届けしていますが、サイズやページ数についてどのように思いますか。（1つ選択）

1. 適切	52 名
2. ほぼ適切	52 名
3. どちらでもない	6 名
4. やや不適切	6 名
5. 不適切	1 名
合計	117 名



【広報広聴課より】

「広報かまくら」のサイズやページ数について9割近い方が適切だと感じていることがわかりました。今後も皆さまにわかりやすく見ていただけるような広報紙の作成に努めてまいります。

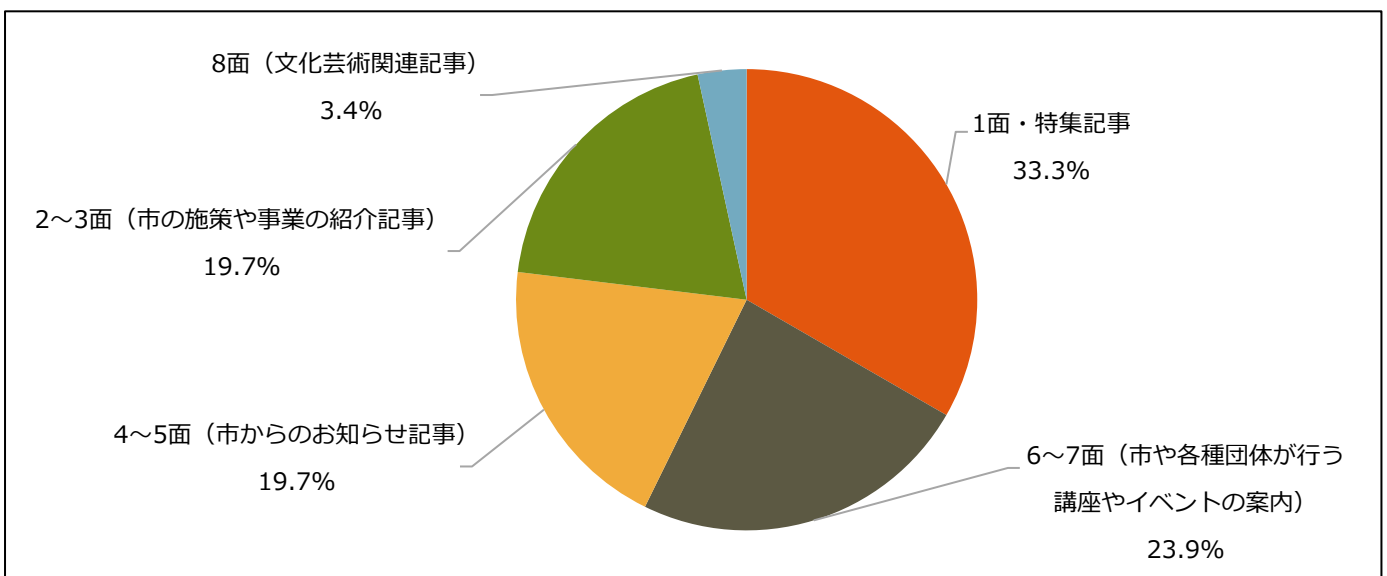
【質問 6】（必須）「広報かまくら」でよく読む記事は何ですか。（1つ選択）

（注）それぞれの面の記事は号によって異なる場合があります。

1. 1面・特集記事	39 名
2. 2～3面（市の施策や事業の紹介記事）	23 名
3. 4～5面（市からのお知らせ記事）	23 名
4. 6～7面（市や各種団体が行う講座やイベントの案内）	28 名
5. 8面（文化芸術関連記事）	4 名
合計	117 名

【広報広聴課より】

多くの方が、満遍なく紙面をご覧いただいていることがわかりました。

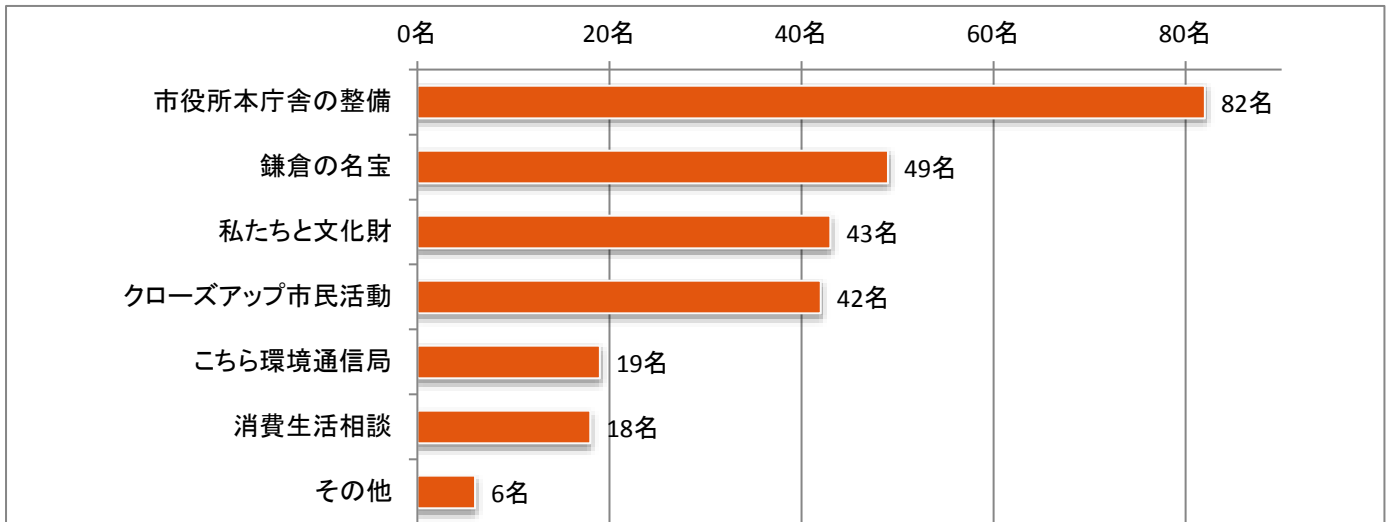


【質問 7】（必須）「広報かまくら」の連載記事について、普段から読んでいるものを全て選んでください。（複数選択）

1. 市役所本庁舎の整備	82 名
2. 消費生活相談	18 名
3. 鎌倉の名宝	49 名
4. クローズアップ市民活動	42 名
5. 私たちと文化財	43 名
6. こちら環境通信局	19 名
7. その他	6 名

【その他】6名の方のご意見

- 決まって読むものはない。
- 連載記事はあまりよまない。
- とくとき読む程度なので。
- ほとんど目を通してない
- あまり読んでいません
- なし



【広報広聴課より】

連載の中でも特に「市役所本庁舎の整備」についての連載を皆さまにご覧いただいていることがわかりました。今後も市の施策などについて、連載などを用いながら、皆さまにお伝えできるよう努めてまいります。

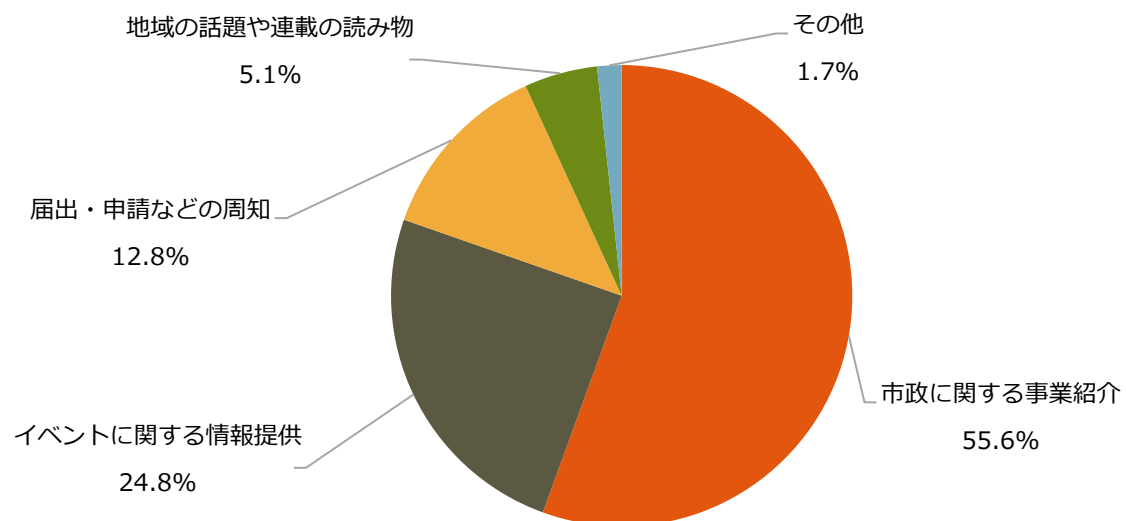
【質問 8】（必須）「広報かまくら」に期待する役割は何ですか。（1 つ選択）

1. 市政に関する事業紹介	65 名
2. 届出・申請などの周知	15 名
3. 地域の話や連載の読み物	6 名
4. イベントに関する情報提供	29 名
5. その他	2 名
合計	117 名

【その他】2名の方のご意見

- 税金の使用用途。
- 市行政の広報と言う機能以外に、市民にとって関心の深いテーマに対する意見集約・検討・討論の場としてもページを提供して欲しい。





【広報広聴課より】

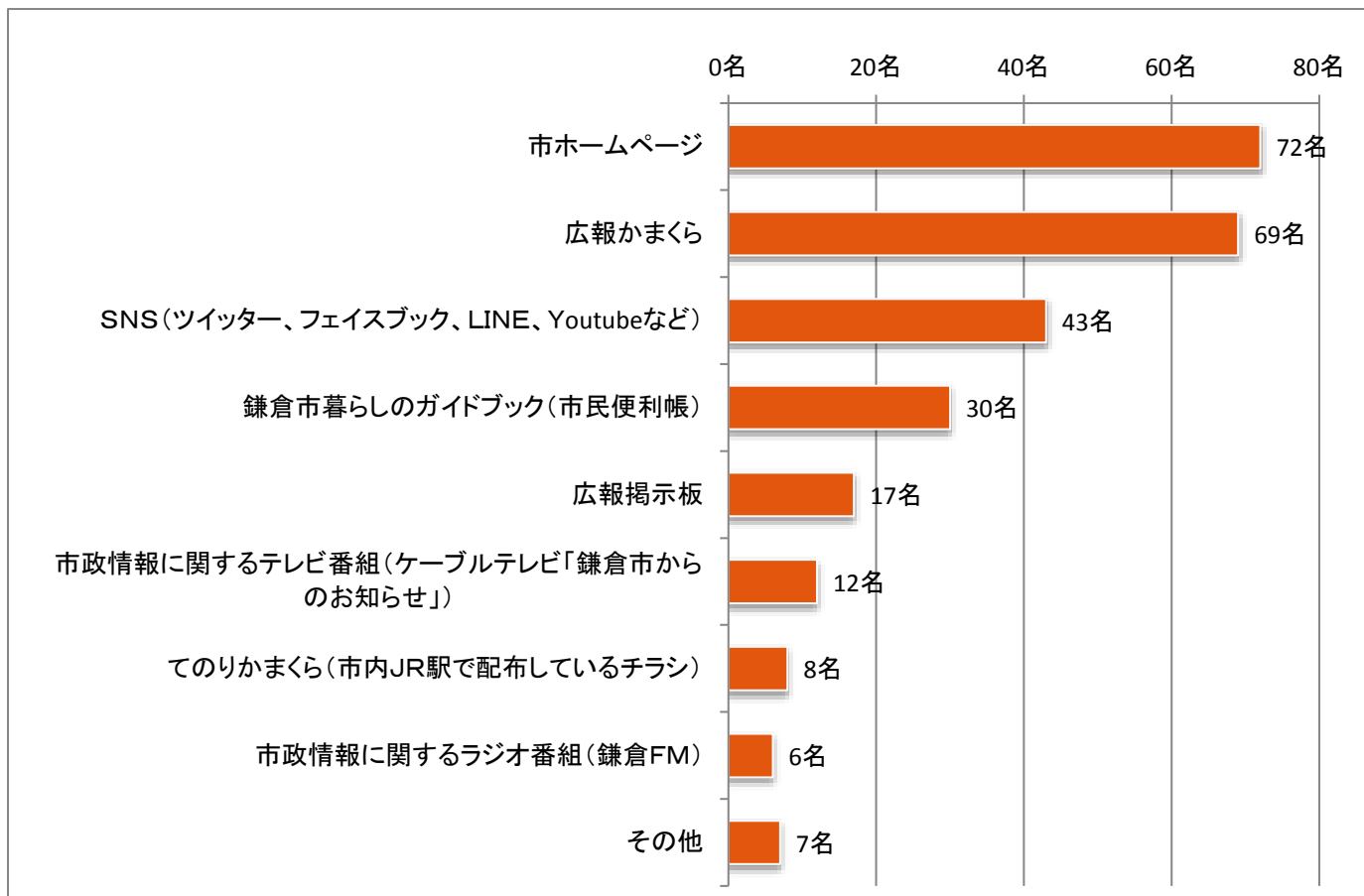
「広報かまくら」に対して「市政に関する事業紹介」を中心にご期待いただいていることがわかりました。今後も市民の皆様にはわかりやすくお伝えすることができるよう工夫しながら、積極的に市の情報を発信してまいります。

【質問 9】（必須）市では、「広報かまくら」以外にホームページやケーブルテレビ、FM放送などさまざまな媒体を使って皆さんに情報をお届けしています。今後力を入れてほしい媒体は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。（複数選択）

1. 広報かまくら	69 名
2. 市ホームページ	72 名
3. SNS（ツイッター、フェイスブック、LINE、Youtube など）	43 名
4. 市政情報に関するテレビ番組（ケーブルテレビ「鎌倉市からのお知らせ」）	12 名
5. 市政情報に関するラジオ番組（鎌倉FM）	6 名
6. 広報掲示板	17 名
7. 鎌倉市暮らしのガイドブック（市民便利帳）	30 名
8. てのりかまくら（市内JR駅で配布しているチラシ）	8 名
9. その他	7 名

【その他】7名の方のご意見

- 税金の使用用途。
- バス内で見られる「ティロップ」を、主要駅（大船駅、JR&江ノ電の鎌倉駅、北鎌倉駅等）に設置したら如何ですか。（詳しくは、広報誌を見て下さい、として）。
- ネットで早く見たい。ネット掲載遅い。
- 広報かまくらをPDFで市のホームページからダウンロードできるようにしてほしい。
- メールマガジンでの配信。
- きららなどで、チラシをいただくことが多いです。イベントだけでなく、市政方針もチラシに置いてくれたら、ゆっくり読めると思います。パンフレットや新聞より、いちまい紙だと気軽に読めるんです。
- 自治会会報。
- メールとホームページとの組み合わせ。



【広報広聴課より】

「広報かまくら」やホームページを中心に今後力を入れてほしいと感じている方が多いことがわかりました。今後も「広報かまくら」やホームページを中心に、そのほかの媒体も効果的に活用しながら、皆さまに情報発信していけるよう取り組んでまいります。

【質問 10】 広報事業について、御意見・御要望がありましたら御記入ください。

※同様のご意見は集約しています。

【『広報かまくら』に関して】

- 広報かまくらは、紙とホームページの両方で提供されている点が評価できる。広報事業は、ホームページで公開されている方が検索できるし、落ち着いて読むことができるので好ましいと思う。
- 市政などについて、すべてのトピックにおいて、「初めて知った人」「初めて読んだ人」でも理解しやすいように、これまでの経緯を簡単にポイント補足するなど、もっと噛み砕いて説明してほしい。
- 討論が必要な内容は無理ですけど、相互のやりとりがある程度できると助かる、ゴミの分別について、Facebookなどsnsで、間違いやすいものなど、よくある質問など上げてくれたら良いなあと思います。トイレトペーパーの芯は再生できないからミックスペーパーではないとか、分別が市によっても異なるので、ちょこちょこピックアップして記事にしてくれるといいなあと思います。
- 市当局が常に主体となって良い面だけ載せているが、もう少し多角的に幅広い意見も掲載した方が良い。偶には拙いことも。
- 本庁舎の移転に関する記事は正確に、誤解を招くことのないようにお願いします。
- 広報かまくらの充実とさらに読みやすく若い人でも入り込めるような工夫をしてほしい。市役所移転とか焼却場問題とかに対して、何か問題等があれば臨時広報を出すなどのこまめな工夫がほしい。また市の若い職員が鎌倉市にどのような展望を持っているかなどの特集も読みたいと思う。
- 行政の予定なども広報してほしい。
- 乳幼児の子育て情報をもう少し掲載してほしい。
- 「広報かまくら」に「市民の声」のような投稿欄があると、市民の生の声がお互いに見えて、市民が広報紙にもっと親しみと関心を持つのではないかと思います。過去の広報かまくらには面白い投稿がたくさんあったようです。
- 市民からの意見・要望をまとめて記載する欄があれば良い。

- なるべく変化があり、日々の生活に役立つ情報を欲しいと思います。限られた人数で情報を集めるのも大変だと思うので、できるだけ市民参加型の情報発信ができる仕組みを作ってもらえると良いと思います。あとは鎌倉市に関連のある方のエッセーなど、読み物のようなものがあると、興味も継続できる気がします。
- 地域に関する情報を従来に増して充実してください。
- 各地域ごとに分けて、イベントなどを周知して欲しい。市民からの情報発信が多くなるようにして欲しい。
- 正しい情報を伝えて欲しい。
- 電子媒体、ネットは、自らが必要に迫られて利用するケースには適するが、不特定・一般の広報情報を動機はなかなか無い。よって、配付される「広報かまくら」の充実、読みやすさ追求が賢明です。
- 市役所本庁舎移転・藤沢市の新駅については、特集を組むなど、しっかり説明してほしい。
- 市が伝えたいことと。市民が知りたいこと・知りたいレベルにギャップがある。本音で市長から市民にメッセージを伝えるという気持ちで取り組んでほしい。
- 市側の独りよがりでしょばい。
- 広報かまくらの文字を大きくして下さいませ。
- 広報かまくらは、ないよりはあった方がいいけれど、多くの人に読んでもらうには工夫が必要だと思います。箇条書きが多いし、イベントの連絡先もわかりにくい。ベビー関連・子供関連・老人関連・女性関連のイベント、それぞれひとめで分かるように、イラストを入れたり、囲みにしたり、各自の欲しい情報に簡単にアクセスできるように改善できると思います。老人関連イベントは、特に文字を大きくしてもいいのでは？
- 一番スペースを多くとっている各種団体などが行っている講座やイベントなどのお知らせはほとんど関心がないので、個人的には無駄に思えますが。
- 広報かまくらへの市民団体の講座・教室・展示欄（P6）の掲載条件は 2017 年 9 月に改正され、1 団体年間 5 回に制限された。その結果、この欄は 1 列（段）程度になっている。私が関係する市民団体では毎月講座を開催したいが、広報の手段がうばわれている。年 1 回の発表会を行っている団体と同じ制限は納得できない。2 月 1 日号でも大半は市役所の担当課や特殊な団体（指定管理者やそれに準ずる委託事業者）でしめられている。これは掲載すべき内容がないのではなく、年間掲載制限のせいである。一方、最近は P1 に大きな写真が掲載されている。2/1 号では特殊詐欺特集。もうすこし、紙面のつかい方を見直してほしい。つながる鎌倉条例（仮称市民活動推進条例）が制定されたのだから、市の役割として、市民活動の広報手段としての広報かまくらの役割も見直してほしい。
- 6～7 面（市や各種団体が行う講座やイベントの案内）の中で「ミニ園芸教室」、「風致地区保存会の催し」等、スポーツ・アウトドアと一緒に括らなく、スポーツは別枠で掲示してほしい。

【広報紙の配布について】

- 毎年年末に、新年の挨拶の広報紙が届きますが、配達は、多少遅くなくても年が明けてからにしてほしいです。
- そろそろ紙媒体は無くてもいいような気がします。
- 店、企業紹介、福祉施設紹介、鎌倉市内役所企業（鎌倉市民、勤務者限定）男女の婚活出会いイベントなど。（この手の鎌倉版 <http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/O214/koikana/platform/>）ほか市内企業や店の広告も積極的に載せて、広告料を印刷費に回す。
- てのりは通勤時間に合わない。駅置きなどもしてほしい。
- てのりかまくらを知りません。市役所等で 探さなくてはと 思います。
- てのりかまくらの存在を知らない。大船駅ではどこで入手できるのか。

【情報提供に関して】

- 広報「かまくら」とホームページのリンク。より大きな文字サイズで「かまくら」を印刷し、詳しくはホームページに記載するという記事を増やしてほしい。その意味で、ホームページをより充実したものとしてほしい。またホームページ内の検索システムの改善（あいまい検索ができるように）をお願いしたい。
- 市民が欲しがっているときに提供できれば良い情報は Web 等で検索可能にすれば良いが、やはり市から市民に知らせたい情報もある。後者のタイプの情報を伝達するには、利用者の限定される SNS や視聴率の低い番組よりは、やはり印刷物が有効である。
- 現在市が取り組んでいること、力を入れていること、市民サービスの内容など、行政活動を一般市民が目にする機会は少ないですね。媒体が少ないからではなく、ひとつは市民の行政に関する関心度合い、そして目に触れる直接的な機会の有無かだと思います。市役所から折に触れて郵便物が届きますが、この中に広報かまくらのダイジェストや、その手紙に関連する情報を同封し、「これらの詳しい、様々な情報は広報かまくらに掲載され、2 か月ごとにお手元に届いていますよ」といった案内をするのも一考かだと思います。ところで、広報かまくらはどうやって各家庭に配布されているのでしょうか？ 新聞折込？ 回覧板で？ ポストへの投げ込み？
- 市の動きを、タイムリーに、簡潔に、かつビジュアルで、多くの人が目に付く場所に設置して下さい。そして、詳細は広報誌やホームページで見てください、として。渋谷駅前の「109」電光板とは言いません。
- メール配信して欲しいです。
- 鎌倉 FM での市政情報は不要です。情報は HP で簡単に閲覧、確認できるようにして欲しいです。
- 広報活動に印刷物に頼りすぎていないか。一度発行しているすべての印刷物を調査して整理すべきではないか。経費、環境保護の両面から広報活動の今後の在り方考え直してほしい。情報提供はホームページなどのネットを多用して印刷物を減らすべき時期に来ていると思う。
- SNS へのシフトをお願いします。市民は市長や市議会議員の SNS から情報が得られています。
- LINE の公式アカウントで日々の情報発信(市政に関する情報開示、イベント案内 etc.)をしてほしい。観光資源も豊富な地域なので Instagram も活用すべきだと思う。
- 鎌倉市役所のホームページがわかりにくいので改善して下さい。

- 鎌倉朝日、タウンニュースなど第三機関に情報発信。
- あまり意見が集まらないのでしょうか。ということは、このままで良いか、或は期待していない、無関心などでしょうか。広報部門の大事なことは様々な生活環境の市民にそれぞれ必要な情報を届けることであり、また、反対に情報を取ることです。そのための手段を間違えると効果が出ません。どのような手段が効果的でなのか適切なものを選定することだと思います。
- どんな広報をしても興味の無い方は見ないのではないかと？広報の仕方・内容ではない気がします。

【広報事業全般】

- 広報媒体が市の説明責任不足と言われることを回避するだけの資料であっては困る。市民は自分達の利益不利益に関わることにいつでも質問したり、意見を述べたり出来る様にして欲しいと考える。ついでには市の広報事業は市の広報誌であると同時に市民の広報誌でもあって欲しい。また市の「広報事業」は趣旨が違うと言うことであればそういう市民の意見が市長や市政担当者に伝わる媒体又は手段が必要と考える。
- 市民の意見など幅広く得ることができるよう、e－モニターの参加者をもっと増やすことが必要だと思う。そのため、多くの市民にe－モニターの活用状況、申し込み方法など周知徹底することが必要だと思う。最低でも市民の1%以上の参加を得られるようにしてほしい。
- Eモニター参加者にも市政情報を配信してほしい。

【その他】

- 「鎌倉検定」を受験予定です、市報、ケーブルTV等への情報をありがとうございます。
- 特になし

【広報広聴課より】

多くのご意見をいただきまして、ありがとうございました。

皆さまからいただいた貴重なご意見を今後の広報活動の参考としながら、さらなる情報発信の手段を検討していきたいと考えております。

このたびは、ご協力いただきましてありがとうございました。

鎌倉市 共創計画部 広報広聴課 広報広聴担当

〒248-8686 鎌倉市御成町 18 番 10 号

TEL 0467 (23) 3000 内線 2506

FAX 0467 (23) 6505

e-mail : emoni2505@city.kamakura.kanagawa.jp